

(6) これからの田島町

こうなるといいな！

田島町針生小学校 5年 星 佳保里

「田島」といわれて思い浮かべることといたらなんだろう。一面に広がる田畑、駒止湿原に代表される豊かな自然、歳之神やぎおん祭りなど古くから伝わる行事、台鞍山スキー場。私はこういう田島の姿が大好きだ。

今から10年たって私が成人式をむかえる頃、田島はどんなふうに変化しているだろう。きっと今より開発が進み豊かで魅力ある町になっているだろう。スキー場は、夏もハングライダーなどをする人でにぎわい、七ヶ岳に登山をする人や、のんびりつりをする人も今より増えるだろう。

町の中心部には、文化センターができて、アイドルがコンサートを開いたり、映画やげきを見たりすることができる。そしてそのそばには、子どもが楽しく遊べる遊園地もあってほしい。田島には高く美しい山々が数多くあるのでその山と山をつないだスケールの大きい遊園地を作ったらどうだろう。山の頂上までリフトで上がり、ロープウエーで次の山へ移ったり、観覧車やジェットコースターから町や山なみを見たりしたら最高のながめだろう。

私の夢はどんどん広がるが、今本当に県では、「あいづ地方拠点都市地域」という計画があって、田島は「あいづ南部高原都市地域」になっていることを新聞で読んだ。それによると田島町に、レクレーション基地を整備したり、交通の便をよくしたりして、「会津の南玄関」とするそうだ。私は、自分の夢が本当になるような気がしてうれしくなった。

でも、田島町の変遷を考えると、忘れてたくないのは、自然のことだ。針生には、田島町だけでなく、全国でも注目されている、駒止湿原がある。観光客がたくさんおとずれるようになって、自然をこわさないで、今の美しい姿をそっくり残しておきたい。そのためには、車の排気ガスを入れないことや、ゴミのポイ捨てをぜったいしないことだ。私は、駒止湿原植物探勝で、植物を見た後で、みんなとゴミ拾いをしたことがある。大切な植物のかけから探せば探すほどゴミが出てきたのでとてもおどろかされた。

田島のシンボル、豊かな自然を町に住む一人一人が責任を持って守りながら、若い人も喜んで残るような魅力いっぱいの田島町になってほしい。そんな町で、未来の私も働きたいと思う。